

授業 コード	11216	科目名	人格心理学		担当者		須崎 暁世			
		副題		開講期	前期	単位数	2	DP対応	S1,S3	
【授業概要】										
<p>人格(パーソナリティ)とは、個人の言動の背景にあって個人に特徴的な、一貫して持続的なまとまりであるといえる。本講義では、主要な人格理論、人格の発達プロセス、社会・文化との関わりを中心に学ぶ。また、人格の病理についても取り上げる。</p>										
【到達目標】										
<p>主要な人格理論について説明することができる。 パーソナリティの観点から、個人差はどのような構造から成り立っているのか、個人差はどのように成立するのか述べるができる。</p>										
【授業方法・計画】										
<p>パワーポイントと配付プリント、視聴覚メディア(DVD)用いて講義形式ですすめる。時間内に、適宜ディスカッション、小レポートを実施する。</p>										
第1回	イントロダクション:人格、気質、性格									
第2回	類型論と特性論									
第3回	人格を映し出す 心理査定									
第4回	人格理論の多様性									
第5回	人格と集団心理1:映画『エクスペリメント』を題材に									
第6回	人格と集団心理2:人が理性を失うとき									
第7回	人格のはじまり									
第8回	人格の発達1:最早期記憶と「わたし」									
第9回	人格の発達2:映画『千と千尋の神隠し』を題材に									
第10回	人格の発達3:自我体験と前思春期									
第11回	人格の成熟									
第12回	人格の病理1:映画『17歳のカルテ』を題材に									
第13回	人格の病理2:パーソナリティ障害									
第14回	総括/後半に試験実施									
【準備学習・復習】										
<p>準備学習:毎回、講義終了時に次回テーマを伝えるので、当該テーマに関して疑問点や不明点がある場合は事前にメモしておき、次回講義で積極的に質問できるよう準備しておいてください。(100分) 復習:講義で学んだ内容をそのままにしておくのではなく、配付プリントを読み直し、しっかりと自分の知識にするよう努めてください。(100分)</p>										
【課題に対するフィードバックの方法】										
<ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッション後、補足説明を行います。 ・小レポート実施後、翌回の講義で回答の共有および解説を行います。 										
【受講上のアドバイスおよび注意事項】										
<p>講義形式のため学生は受身になりがちですが、講義の内容を自らの生活や人生に引きつけて考察し、活発な意見交換を通じて、能動的に考える力を養うように心がけて下さい。</p>										
成績評価方法	<p>受講態度(各回の授業内容の理解度)...30% 期末試験(基本事項の確認及び総合力)...70%</p>									
教科書	教科書は指定せず、適宜プリントを配付します。									
参考書	参考書は適宜紹介します。									
SP2210	授業に関連する実務経験				カウンセラーとしての心理支援・カウンセリング業務					